

坪井 武成 議員

Q・大量な不法投棄の防止策を

A・地域ぐるみで、未然防止の輪を広げていく



Q 高添川支線の川の中や側道に

大量の衣類や布団、今までもプラスチック製品、建築資材、電気工事資材が、また松張地区にも大量なカボチャ等いずれもトラックから空けたよう。夜は暗く周辺に住居もなく、人目につきにくい。そこで防犯灯、カメラを設置出来ないか。不法投棄させない環境づくりも必要ではないか。

A 高添、松張の地域に限らず、

人目につきにくい地域では、ごみの不法投棄がみられる。

防犯灯、防犯カメラについては、設置する考えはない。

広報紙や注意看板のほか地域ぐるみで、未然防止の輪を広げていくことが最も効果がある。

不法投棄対策は行政の力だけでなく、町民の更なる協力のもと不法投棄の抑止に努める。



許せない!! 不法投棄

Q・シルバーパスの発行を

A・制度導入は考えていない

Q 高齢者が、朝夕の通勤通学の時間帯を除き日中利用者の少ない時間帯に、タウンバスを利用する豊山流シルバーパスの導入は。どうか。

高齢者が、朝夕年間4〜5千円で発行し、自由に利用してもらったかどうか。住民サービス、バスの空席活用、収入の一端になるかどうか。

A 北ルートの想定

されている時間帯の利用者は少ないとはいえない。

南ルートでは、一定程度の利用者増を見込める半面、バスの主たる収入源が高齢者のご利用であることから考えると、収益を大きく減少させる可能性がある。

財源の確保という視点からは効果的であるとは言えない。

従って、現時点では制度導入は適当ではないと考えている。